

記念だより

医療法人社団慈誠会
 慈誠会記念病院
 〒175-0045
 東京都板橋区西台三丁目11-3
 電話：(03) 5920-1801
 FAX：(03) 5920-1805
 URL：https://jiseikaikinen-hp.jp



6つのお守り袋

世の偉大な人の多くは若い時に「大病」「浪人」「挫折」などといった逆境のストレスを克服しストレスを自己成長のためのエネルギーに変えて大成しております。

孔子は「15にして志学」「40にして不惑」と説いていますが現代社会の思春期では身体は大人、心は子供における心身のアンバランスから生じる非行、不適応疾患等の問題があり中々「志学」とまでは行かず、中年期は「不惑」どころか迷い道で知的能力や経済的能力は向上期にありますが身体生殖能力が下降期に入り、やはり心身のバランスを欠き障害が起こります。ライフスタイルの変化と共に非行や心身症の低年齢化や30歳近くなくても就職を拒否するモラトラムの出現で成人病の初期症状の「危機年齢」も同様に長寿化し老年期のみが長くなっているのではありません。そこに至る青年期・壮年期も当然伸び社会環境が変化しています。そこで6つの「お守り袋」をご紹介しますと思います。



副院長兼看護部長 高橋礼子

- 1. 胃袋 (健康)
 ストレスをうけやすいのが胃と腸、すなわち身体を大事にする事。
- 2. お袋 (家族、身内)
 自分の親兄弟、身内、知人、友人、同僚など周囲の人間関係を良好に維持する事。
- 3. 袋 (お金)
 現代はハートだけでは生きられず経済基盤をしっかりさせ小さなストレスや不安が軽減できる様にする事。
- 4. 堪忍袋 (ストレートランス)
 ストレスに対しては耐性(トランス)が大切でストレスを回避するのではなく共に生きる事。
- 5. 知恵袋 (サポートシステム)
 失敗や挫折にあった時はくじけず生きる自分の知恵と助言者の知恵が必要である。
- 6. 手袋 (専門職業)
 「手に職をつける」食いはぐれない職業・技能・技術・専門知識を身に付け独立自尊の精神をもつ事。

理念

常に「慈愛」の心を持って、「誠実」に医療・看護・介護のサービス(奉仕)を行う

基本方針

- ①生命の尊厳、人権の尊重
- ②信頼と誇りを基盤にした診療
- ③穏やかで安心できる院内環境
- ④医療、介護、看護の継続的な質改善
- ⑤安定した経営基盤の構築

お問合せ先

電話番号
03-5920-1801
E-mail
jsk-kinen-shp@star.ocn.ne.jp

行事食だより

当院の行事食のご紹介をいたします。2月はバレンタイン、5月はこどもの日をお祝いする行事食です。入院、入所生活が長くなってくると食事マンネリ化してしまいがちですが、行事食は見た目からしても、いつもの食事とは違う特別感が出てきます。患者様、入所様が少しでも快適な入院生活が送れるよう栄養科一同心を込めて手作りしています。



MENU

- ・青菜梅ごはん
- ・ハートハンバーグ
- ・白菜のナムル
- ・バレンタインチョコケーキ
- ・カリフラワーの豆乳スープ



MENU

- ・たけのこ御飯
- ・鯉のぼりミートローフ
- ・キャベツの胡麻和え
- ・柏餅風ゼリー
- ・オクラの澄まし汁

常食ではハンバーグをハートの形に作り、焼き上げた後に上からケチャップを全面にかけることで、赤いハートをイメージしました。キザミ食では刻んだハンバーグの上からケチャップでハートを描き、見た目からお食事を楽しんで頂けるようにしました。バレンタインなので、ケーキが食べられ方にはチョコケーキを、食べられない方にはチョコババロアに変えてご提供しました。

ミートローフを鯉のぼりの形に成型し、うずらの卵を目にみため、ソースで鱗をかき再現しました。キザミ食、ミキサー食の方にも鯉のぼりにみためたソフト食を提供し、見た目からも楽しんでいただけようようにしました。デザートは、緑・白・茶の三色の三層でゼリーを作り、柏餅風のゼリーにしました。ゼラチンで作成することで、全員が同じものを食べられるようにしました。

介護医療院のリハビリでは手指巧緻動作・認知機能へのアプローチの一環で、利用者様と共に制作活動を行っています。複数の利用者様で一つのテーブルを囲み、楽しく談笑しながら毎週制作に取り組んでいます。5月は「鯉のぼり」、6月は「紫陽花」をテーマに作成しました。

制作品は介護医療院5階の談話室に展示しておりますので、お立ち寄りの際は是非ご覧ください。



介護医療院サマーコンサート

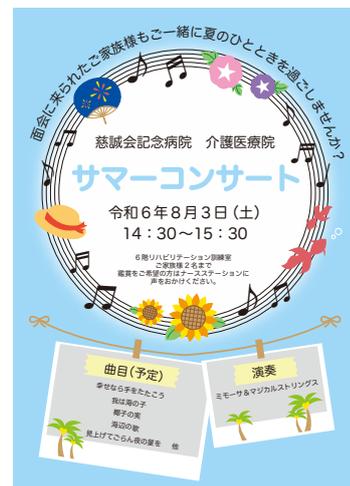
ミモーサ&マジカルストリングスの皆さまをお招きしてサマーコンサートを開催いたしました。ミモーサ&マジカルストリングスの皆さまは老人保健施設等でボランティアで歌と曲の演奏の活動をされている方たちです。今回は歌、バイオリン、クラリネット、フルート、ギター、ピアノの生演奏を楽しんでいただきました。

入所者様21名、ご家族様14名の総勢40名様のご参加により盛大なコンサートとなりました。

幼い日に歌った童謡、耳にしていた歌謡曲など多彩な楽曲の演奏があり、ご家族と一緒に歌い、手をたたき、楽しい時間を過ごすことができました。

アンコールにも応えて頂き、いつも昼食時に合唱している「津軽海峡・冬景色」を皆で合唱しました。私たち職員も生演奏で歌うことはほとんどありませんので、貴重な経験となりました。

今後も楽しい行事を企画し、入所者様と楽しいひとときを過ごせればと考えております。



最後に副院長、事務局職員と一緒に！撮影の時のみマスクを外しています。

● 外来担当表 ●

診療時間 午前9:00~12:30 午後1:30~5:00

診療科	区分	月	火	水	木	金	土
一般内科 (腎・循・呼)	午前	難波研一 (内・循)	石田由依子	安藤 稔 (内・腎)	濱野慶朋 (内・腎) 真野健次 (呼)	難波研一 (内・循)	東郷久子 非常勤医
	午後	石田由依子	難波研一 (内・循)	安藤 稔 (内・腎) (~16:00)	濱野慶朋 (内・腎)	石田由依子	東郷久子 非常勤医

特別医療担当医表

認知症外来 もの忘れ外来	午前		下濱 俊 第1・2				
皮膚科 (~15:30)	午後	東京女子医大					
眼科 (14:30~)	午後					西恭代 (慶應大)	
整形外科 (~12:00)	午前					作田智彦	
泌尿器科	午後			鈴木伸生 第1・3・5			

※受付は、診療時間終了の30分前で終了いたします。